

文で きまる 反対の 言葉 ⑤

小3／ならばは ありません。反対の 言葉を 書こう

なまえ _____

ひづけ _____

——の 言葉と 反対の いみになる 言葉を、□に 書きましょう。

ならばは ありません。文を よんで、何について 言っているかを 決めてから 書きます。

同じ 言葉でも、文が ちがえば 書く 言葉も かわります。

- (1) 八月の ひるまは とても あつい。
- (2) ガスの 火に かけた なべは あつい。
- (3) この 絵本は 300ページも あって あつい。
- (4) むこうに 見える 山が たかい。
- (5) この かばんは ねだんが たかい。
- (6) れいとうこの こおりは かたい。
- (7) 一年生でも できる この テストは やさしい。
- (8) 兄は うちの 犬に あまい。
- (9) この かごの あみの 目は こまかい。
- (10) たんじょう日の ろうそくに 火を つける。
- (11) わたしたちは 山道を あがる。
- (12) にもつを のせた 車を ひく。



文で きまる 反対の 言葉 ⑤【こたえ】

小3／ならばは ありません。反対の 言葉 を 書こう

なまえ

ひづけ

赤い 字が こたえです。「→」は、文の 手がかりと、そこから 決まる いみです。
() の 言葉でも 正かいです。ほかの 言い方でも、文に あって いれば 正かいです。

- (1) 八月の ひるまは とても あつい。

八月→気おん (「すずしい」でも 正かい)

さむい

- (2) ガスの 火に かけた なべは あつい。

なべ→もののねつ (「ぬるい」でも 正かい)

つめたい

- (3) この 絵本は 300ページも あって あつい。

絵本→あつみ

うすい

- (4) むこうに 見える 山が たかい。

山→高さ

ひくい

- (5) この かばんは ねだんが たかい。

ねだん→ものの ねだん (「ひくい」でも 正かい)

やすい

- (6) れいとうこの こおりは かたい。

こおり→もののかたさ

やわらかい

- (7) 一年生でも できる この テストは やさしい。

テスト→むずかしさ

むずかしい

- (8) 兄は うちの 犬に あまい。

犬→人のたいど

きびしい

- (9) この かごの あみの 目は こまかい。

あみ→つぶのあらさ (「大きい」でも 正かい)

あらい

- (10) たんじょう日の ろうそくに 火を つける。

火→明かり

けす

- (11) わたしたちは 山道を あがる。

山道→高さ (「くだる」でも 正かい)

おりる

- (12) にもつを のせた 車を ひく。

にもつ→おしひき

おす